

基本構想骨子案（Ⅰ．まちづくりの方向性とまちの将来像）

将来を見据えた新たな視点

1. 未来技術を活用したまちづくり

◎Society 5.0

- ・IoT や AI により、地方が抱える課題が克服される。
- ・AI・ビッグデータを活用することで、利用者個々のニーズへの対応、業務運営の効率化などを図る。
- ・ツナガル、自動化、利活用、電動化（CASE）等の自動車産業における新しい技術革新の潮流が生じている。
- ・出発地から目的地までの移動を一つのアプリで提供する等、MaaSの実現に向けた取り組みが進んでいる。
- ・観光の側面からもキャッシュレス決済の加速化が進んでいる。

◎シェアリングサービス

- ・空間、移動、モノ、スキル、お金のシェアが拡大している。

◎電子自治体の推進

- ・各種行政手続が Web 上の情報交換のみでできるようにする。

2. 持続可能な社会を目指した取り組み

◎SDGs（持続可能な開発目標）への貢献

- ・持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成



3. まちに関わる人づくり

◎関係人口の創出・拡大

- ・定住や交流人口のみならず、将来的な地方移住にもつながる関係人口を増やしていく。

◎人材の育成・支援

- ・地方創生の基盤となる人材を育て、活躍を支援する。

◎民間との協働

- ・行政のみならず、NPO などの地域づくりを担う組織や企業と連携する。

◎誰もが活躍できる地域社会

- ・女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会の実現を目指す。

協議会からのキーワード

- ・ 子育てしやすいまち
- ・ 世代間の交流が盛んなまち
- ・ 大人も子どもも集まって楽しめるまち

- ・ 富士山がシンボルのまち
- ・ 都会とはひと味違う癒されるまち
- ・ 自然体験ができるまち
- ・ 儲かるまち、生み出すまち

- ・ 子どもからお年寄りまで安心して生活できるまち
- ・ 安全な交通環境が確保されたまち
- ・ 治安が良く、災害に強いまち

- ・ 人と人のつながりを大切にできるまち
- ・ だれもがまちづくりを実行できるまち
- ・ 市民が主役のまち

- ・ 企業活動が盛んなまち
- ・ 新しいことにチャレンジするまち
- ・ 自然豊かな先端都市
- ・ 未来技術のモデル地区の創造

まちづくりの方向性

住み続けたいくなるまちづくり

- ・結婚・出産・子育てに対する支援や特色ある学校教育・生涯学習の充実を図るほか、市民が暮らしやすく、子どもから高齢者まで活躍できる場づくりを充実させると共に、人が集まり楽しめる場を創出することにより、裾野市に「住み続けたいくなるまちづくり」を目指します。

【まちづくりのキーワード】

- ・子育て世代に選ばれる、特色ある学校教育・生涯学習の充実、女性・障がい者・高齢者・外国人など誰もが活躍できる、等

人や企業を呼び込むまちづくり

- ・富士山や深良用水をはじめとする裾野市特有の地域資源を活かし、交流人口や定住人口だけでなく、関係人口の確保を図るほか、北部地域の産業集積等による就業の場を活かすことにより、「人や企業を呼び込むまちづくり」を目指します。

【まちづくりのキーワード】

- ・富士山、豊かな自然・水、あるもの磨き、観光・インバウンド、関係人口、若者のUターン促進、企業誘致・働き場所の確保、戦略的な広報 等

安全・安心なまちづくり

- ・想定外の自然災害に備えるため、防災・減災に資する都市の強靱化を図るほか、おいしい水や食の安全の確保、高齢者等の移動手段の確保や生活支援等、子どもからお年寄りまで安心して生活できる「安全・安心なまちづくり」を目指します。

【まちづくりのキーワード】

- ・安心な暮らし、食の安全、治安の良さ、災害に強い、道路・交通網整備、環境保全、おいしい水、多様な世代が暮らし続けられる 等

協働・連携によるまちづくり

- ・地域で支え合うコミュニティづくりや市民参画による協働のまちづくりを推進するとともに、企業などの多様な主体との連携を図り、「協働・連携によるまちづくり」を目指します。

【まちづくりのキーワード】

- ・人と人のつながり、地域の歴史や伝統の継承、地域コミュニティの維持、市民協働・異業種の協働、NPO や企業との連携 等

未来技術を活かしたまちづくり

- ・労働力人口の減少や高齢化の進行等により発生する地域課題を解決するほか、効率的で効果的な行政サービスを提供し、市民満足度を向上させるための手段として、「未来技術を活かしたまちづくり」を目指します。

【まちづくりのキーワード】

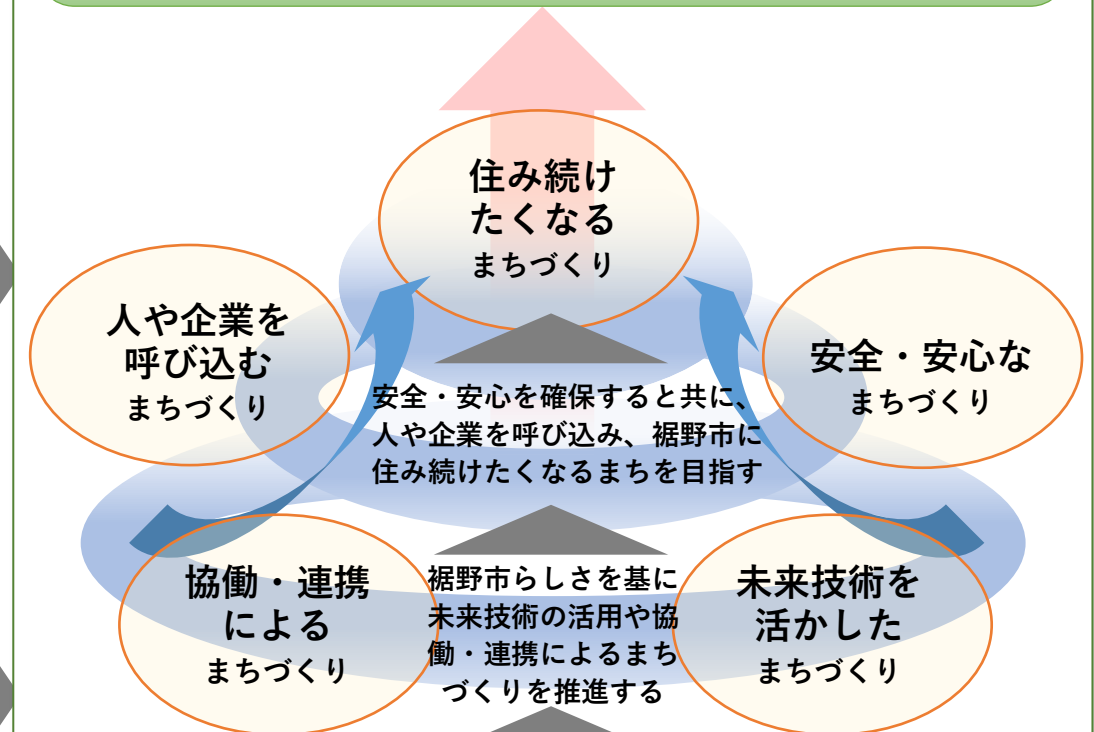
- ・Society5.0（AI、IoT、自動運転、シェアリング等）、先端都市、未来技術のモデル地区、行政運営の効率化、財政の健全化、働き方改革 等

まちの将来像

【裾野市の将来都市像】

～未来への挑戦～

人と人のつながりを豊かにする
富士山の麓の次世代型都市 すその



<裾野市らしさ>

富士山、豊かな自然・水、田園風景、地域経済を牽引する企業、地域コミュニティのつながり、地域に誇りを持つ市民 等

- 裾野市では、富士山、豊かな自然・水、田園風景などの「地域資源」とともに、地域コミュニティのつながり、地域に誇りを持つ市民、地域経済を牽引する企業などの「人・産業」がまちづくりの中心となり、裾野市らしさを構成しています。
- 裾野市特有の資源を基に、市民や企業などの多様な主体との「**協働・連携によるまちづくり**」を目指します。また、様々な地域課題を解決するための手段として、「**未来技術の活用によるまちづくり**」を目指します。
- さらに、市民生活や企業活動の基盤となる「**安全・安心なまちづくり**」を目指すと共に、市外から新たな「**人や企業を呼び込むまちづくり**」を目指します。
- これらの実現を目指すと共に、裾野市で生活する人々がこれからも「**住み続けたいなるまちづくり**」（裾野市で活動し続けたいなるまちづくり）を目指します。
- 上述の5つのまちづくりの方向性を踏まえ、『～未来への挑戦～人と人のつながりを豊かにする富士山の麓の次世代型都市 すその』をまちの将来像とします。
- まちの将来像の設定にあたっては、特に「人」というキーワードに焦点を当てました。人と人のつながりを大切にし、そのつながりをさらに豊かにすると共に、時代の変化に対応するため、新しいことにチャレンジし続けることにより、常に次世代型の都市を目指すことをイメージしています。

基本構想骨子案（Ⅱ．施策の体系）

まちの将来像である「～未来への挑戦～ 人と人のつながりを豊かにする富士山の麓の次世代型都市 すその」を実現するため、３つの基本方向と５つの施策の大綱により、施策を推進します。

〔将来都市像〕 〔基本方向〕 〔 施策の大綱 〕 〔 施策の柱 〕

〔将来都市像〕

人と人のつながりを豊かにする富士山の麓の次世代型都市 すその

〔基本方向〕

住み続けたいくなるまちづくり

人や企業を呼び込むまちづくり

安全・安心なまちづくり

〔 施策の大綱 〕

みんなが輝く
元気な
人づくり

健康づくりの推進
子育て支援の推進
学校教育の充実
生涯学習の充実
青少年の健全育成
スポーツ・レクリエーションの振興
文化の振興・保存
市民協働によるまちづくり、コミュニティづくりの推進
誰もが生きがいを感じられるまちづくりの推進

にぎわいと
活力ある
産業づくり

商工業の振興
活力ある産業基盤づくり
農林業の振興
観光産業の振興
地域資源磨き・魅力発信の推進

安全・安心な
地域づくり

地域医療体制の確保
地域における福祉の推進
障がい福祉の推進
環境負荷の少ないまちづくりの推進
防災・減災対策の充実
防犯体制の充実
交通安全対策の充実
消費生活対策の充実
広域連携による消防・救急体制の充実

暮らしや
活動を支える
基盤づくり

裾野市らしいまちづくりの推進
活気に満ちた市街地整備の推進
快適な住環境の創出
利便性の高い道路網の整備・保全
持続可能な公共交通の確保
治山・治水の推進
豊かで良質な水道の安定的確保
衛生的で快適な下水道の整備

時代のニーズに
応える
都市経営

広報・広聴の充実
ICTの活用による地域情報化の推進
効果・効率志向の行政経営の推進
健全で持続可能な財政運営の推進
行政経営の確立に向けた人材の育成と組織体制の強化
将来を見据えた市政の展開
開かれた議会運営の支援
適正な監査事務の促進

■施策の柱の振り分け案

第4次（現計画）の体系		第5次（新計画）の施策の大綱における位置づけ				
施策の大綱	施策の柱	みんなが輝く 元気な 人づくり	にぎわいと 活力ある 産業づくり	安全・安心な 地域づくり	暮らしや活動を 支える 基盤づくり	時代のニーズに 応える 都市経営
だれもが将来にわたってすこやかに暮らせる健康と福祉の「すその」	健康づくりの推進	●				
	子育て支援の推進	●				
	地域医療体制の確保			●		
	地域における福祉の推進			●		
	障がい福祉の推進			●		
成長するよろこびと地域のつながりで心の豊かさを育む「すその」	学校教育の充実	●				
	生涯学習の充実	●				
	青少年の健全育成	●				
	スポーツ・レクリエーションの振興	●				
	文化の振興・保存	●				
市民と行政が手を携えてつくる安心と活力ある「すその」	市民協働によるまちづくり、コミュニティづくりの推進	●				
	誰もが生きがいを感じられるまちづくりの推進	●				
	環境負荷の少ないまちづくりの推進			●		
	防災・減災対策の充実			●		
	防犯体制の充実			●		
	交通安全対策の充実			●		
	消費生活対策の充実			●		
	広域連携による消防・救急体制の充実			●		
豊かな自然と暮らしやすさが調和した「すその」	裾野市らしいまちづくりの推進				●	
	活気に満ちた市街地整備の推進				●	
	快適な住環境の創出				●	
	利便性の高い道路網の整備・保全				●	
	持続可能な公共交通の確保				●	
	治山・治水の推進				●	
	豊かで良質な水道の安定的確保				●	
	衛生的で快適な下水道の整備				●	
今ある魅力と資源を再発見し、未来へつなげる「すその」	商工業の振興		●			
	活力ある産業基盤づくり		●			
	農林業の振興		●			
	観光産業の振興		●			
健全な行政をみんなが実感できる市民と未来に開かれた「すその」	地域資源磨き・魅力発信の推進		●			
	広報・広聴の充実					●
	ICTの活用による地域情報化の推進					●
	効果・効率志向の行政経営の推進					●
	健全で持続可能な財政運営の推進					●
	行政経営の確立に向けた人材の育成と組織体制の強化					●
	将来を見据えた市政の展開					●
	開かれた議会運営の支援					●
	適正な監査事務の促進					●

■施策の推進に欠かせない視点

- 市民起点、市民志向
- 富士山や須山浅間神社、深良用水など、裾野市が誇る地域資源を活かした魅力発信
- 市民協働、官民連携、広域連携等の手法の活用
- デジタル技術やデータの利活用
- 効率的で効果的な行政経営の追求